田園を彩るユニークなかかし

地名区にて区民による 「かかしコンテスト」 開催

地名区にて、同区主催の「第7回地名の平かか し祭り |が開催されています。

この祭りは、秋の豊作祈願と区民同士の触れ 合いの機会を増やすことを目的に、「地域で取り 組む生涯学習事業」の一環として2年に一度開 催されています。水田脇の農道には、パンダの親 子やお笑い芸人の「ブルゾンちえみ」さんなど、 旬な話題をテーマにした19体が並びました。期 間中には来場者による人気投票も行われ、訪れ た区民や観光客は、趣向を凝らした作品の数々 を楽そうに眺めていました。



収穫間近の稲穂の見張り役として、ずらりとかかしが並んだ

心が一つになった発表で観客を魅了

練習の成果を表現豊かに4校熱演

北地域小学校音楽発表会が文化会館ホールで 行われ、町立4小学校の4年生以上の児童(中川 根南部小は全校児童)は、練習してきた合唱と合 奏をそれぞれ発表しました。

すべての学校で発表前に児童が「注目してほ しいポイント」を紹介したほか、曲の合間に手拍 子を促したり低学年の児童が上級生の合奏をダ ンスで盛り上げたりするなど、観客を楽しませ る工夫を披露していました。

全校発表後には、四ノ宮たつ子さんを講師に 迎え、発声方法の技術指導を受けました。



は各校とも表現豊かに歌い上げた(写真は中央小)

秋の夜長に優雅な舞

安倍川・大井川に伝承される「駿河神楽」のひとつ、徳山神楽を奉納

県指定無形民俗文化財の徳山神楽が、徳山神 社(徳山区)にて奉納されました。江戸時代から 伝わるとされる徳山神楽は、五穀豊穣と無病息 災を祈願して毎年奉納されています。

当日は夕方から夜にかけて、女子小中学生が 巫女姿で優雅に舞う「四座の舞|「天王の舞|や、 徳山古典芸能保存会の会員による燃え盛るたい まつを振り回す勇壮な「火の舞」など15種の舞 が披露されました。軽妙なおはやしの音色に合 わせて演じる舞い手に、訪れた見物客から大き な拍手が送られました。



舞手が見せる滑稽な仕草を「かぶりつき」で楽しむ子どもたち

もえぎ色の輝きに魅せられて

良質な生糸がとれるものの飼育が難しいとされるヤママユガの養蚕に挑戦

町内と島田市川根町の住民7人が、天蚕(ヤマ マユガの幼虫)の飼育に取り組んでいます。

グループは、町の補助金を活用して長野県安 曇野市を視察するなど、3年前から飼育に取り 組み始めました。本格的な飼育を始めた今年は、 7月上旬に約3センチのマユを400粒ほど、ま た中川根南部小学校でも10粒を収穫しました。

メンバーの栗原春子さん(地名区)は「小学校 でも子どもたちに育ててもらったり、産業文化 祭などのイベントに出展したりして、取り組み を広げていきたい」と期待を込めて話しました。



「さっそくこれから糸を紡いでみたい」と話し合うメンバー

川根茶のある風景を探して

町内で「写真映え」スポットを巡るツアーを開催

茶業関係者で組織する「美しい茶園でつなが るプロジェクト|実行委員会は、町内を巡るツ アー「絶景と人に出会う旅~フォトジェニック カワネ~」を開催しました。

このツアーは「茶園景観を題材として人を呼 び込こむこと」を目的に、現在同実行委員会が実 施しているフォトコンテストの連動企画として 開催されました。

県内外から訪れた8名の参加者は、茶園や奥 大井湖上駅など町内のビュースポットを巡り、 フォトコンテスト応募用の写真撮影をしたり、 住民との交流を楽しんだりしました。



写真共有アプリ「インスタグラム」で、

日常生活で見つけた[川根茶のある風景|を投稿してください!

【応募方法】 ①お使いのスマートフォンにアプリ「インスタグラム | をインストール。

②公式アカウント[view tea kawane]をフォロー。

③写真にハッシュタグ「#つながる川根茶」を付けて投稿。

第7回[川根時間]を開催します

【日時】11月23日(木・祝)午前9時から午後3時まで 【会場と内容】 ▷千葉山 智満寺(上長尾332)

全国茶品評会入賞茶体験席、川根茶飲み比べなど ▶フォーレなかかわね茶茗舘(水川71-1)

TACHIKAMA(釜炒り茶)試飲、「茶歌舞伎」体験など

【参加料】1人500円(両会場共通、茶菓子付き)

◎両会場・役場本庁間でシャトルバスを運行しますので、ぜひご利用ください。

